

## 1 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けたコンテンツの開発

## 2 主題設定の趣旨

学校教育法の改正により明確に示された「確かな学力」とは、「基礎的な知識及び技能」「これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの要素から構成されている。小・中学校では、これらの要素を踏まえた指導を行うため、現行学習指導要領に基づき、学習方法や評価の在り方等の充実が図られてきている。また、平成29年3月に示された新学習指導要領では、育成を目指す資質・能力について、各教科の目標や内容を貫いて、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理された。平成30年度佐賀県教育施策実施計画においても、「確かな学力」を育む教育の推進が1つの施策の柱となっている。その中で、「確かな学力」については、基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力と示されている。

本県においては、学習指導要領に示されている目標の達成状況や内容の定着状況等を把握し、指導の充実や学習状況の改善に役立てるため、4月に全国学力・学習状況調査（以下、全国調査）の実施教科に併せて、佐賀県小・中学校学習状況調査（以下、県調査）を行うとともに、12月には、国語、社会、算数・数学、理科、英語の各教科において県調査を行っている。平成30年度佐賀県教育施策実施計画では、本県の県調査における課題・対応については、児童生徒の学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育成することが必要であると示されている。これまでの県調査 Web 報告書等を見ると、以下資料1から資料5に示すような校種、教科ごとに、重点となる課題があると考えられる。中には数年にわたり課題とされる事項が指摘されている。これらのことから、全国調査及び県調査の結果を把握し、課題の解決に向けた授業づくりを行うことで「確かな学力」が身に付くと考える。

平成27・28年度佐賀県教育センター「プロジェクト研究」（授業改善）において、佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を詳細に分析し、見えてきた課題から課題解決に向けて児童生徒に必要な力を明らかにし、それらの力を育成する授業改善策について、授業実践を通して得た成果を基に提案した。さらに本研究委員会では、どの先生方でもすぐに使えるコンテンツを開発していきたいと考えている。その背景として、近年の教員の大量退職、大量採用の影響により、かつてのように先輩教員から若手教員への知識・技能の伝達が難しい状況下にあることが挙げられる。児童生徒に「確かな学力」を身に付けるための1つの方策として、コンテンツを開発することで、授業改善の一助となると考える。具体的には、平成30年度佐賀県小・中学校学習状況調査〔12月調査〕Web 報告書を踏まえ、新学習指導要領に沿った学習指導の工夫改善についての研究を行い、単元計画案やワークシート・手引き等のコンテンツを開発する。その際、平成29・30年度佐賀県教育センター「プロジェクト研究」（小・中各教科）で取り組んだ、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の質的改善の研究内容を取り入れることで、課題の解決につながると考える。これらの研究成果が有効に活用されるように、随時 Web 発信しながら学校での活用を促していくことで、知識・技能の定着を図るとともに、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むことに役立ててもらいたいと考える。

### 3 研究の目標

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える児童生徒の課題を解決するために、効果的なコンテンツを開発する。

### 4 研究方法

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を基にした課題の把握
- (2) 課題の解決に向けたコンテンツの開発
- (3) コンテンツを活用した授業実践

### 5 研究内容

- (1) 各校種の各教科で研究委員会を組織し、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書を基に、県内の児童生徒の学力の現状や、研究委員の学校の児童生徒の現状について把握する。
- (2) (1)から見えてきた課題の解決に向けた教材やワークシート、手引き等を開発する。
- (3) 教材やワークシート、手引き等を作成し、研究委員の所属校において授業実践を行う。

### 6 発信する研究情報の内容について

本研究センターWeb 上に、授業改善のポータルサイトを設け、校種、教科ごとに、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書から見られる課題の解決を図るコンテンツを発信する。

### 7 組織する各校種の教科部会別の具体的な研究推進計画等

- (1) 組織する各校種の研究委員会
  - ア 小学校国語科教育研究委員会
  - イ 小学校算数科教育研究委員会
  - ウ 中学校国語科教育研究委員会
  - エ 中学校数学科教育研究委員会
  - オ 中学校英語科教育研究委員会
- (2) 研究委員会ごとの具体的な研究推進計画

研究委員会ごとの具体的な研究（1年次の研究成果及び2年次の研究内容）については、研究委員会ごとに資料1～5に示す各教科の研究要項を作成し、それを基に、研究委員会を開催し、研究を推進する。

#### 《参考文献》

- ・佐賀県教育委員会 『平成30年度佐賀県教育施策実施計画』
- ・佐賀県教育センター 『平成30年度佐賀県小・中学校学習状況調査 [12月調査] Web 報告書』

資料1 令和元年度「プロジェクト研究」（小学校国語科教育研究委員会）

1 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けたコンテンツの開発

2 佐賀県学習状況調査の結果から見える小学校国語科の課題

- ・話の中心に気を付けて聞き分らない点や確認したい点を質問したり、話し手の意図を捉えながら聞き考えをまとめたりすることに課題が見られる。
- ・場面の様子に注意しながら読んだり、物語を読んであらすじを書いたり、叙述を基に自分の考えをまとめたりすることに課題が見られる。
- ・文章の内容を的確に捉えることに課題が見られる。

3 研究の目標

小学校国語科において、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書から見える児童の課題を解決するために、効果的なコンテンツを開発する。

4 研究方法

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を基にした課題の把握
- (2) 課題の解決に向けたコンテンツの開発
- (3) コンテンツを活用した授業実践

5 研究内容

- (1) 小学校国語科教育研究委員会を組織し、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書を基に、県内の児童の学力の現状を把握する。
- (2) (1)から見えてきた課題の解決に向けた授業アイデアやワークシート、手引き等を開発する。
- (3) 授業アイデアやワークシート、手引き等を作成し、研究委員の所属校において授業実践を行い、コンテンツの開発に生かす。

6 研究推進計画

|     | 令和元年度 2か年計画 第1年次                                     | 令和2年度 2か年計画 第2年次                                     |
|-----|--|--|
| 4月  | 研究要項の作成  | 研究要項の見直し、修正  |
| 5月  | 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果分析                                  | 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を分析                                 |
| 6月  | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①                                   | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①                                   |
| 7月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             |
| 8月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  |
| 9月  | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     |
| 10月 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 |
| 11月 | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            |
| 12月 | 事後実態調査の実施及び分析<br>Web原稿提出<br>コンテンツ発信                  | Web原稿提出  |
| 1月  | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     |
| 2月  | 次年度の構想についての検討  |  |
| 3月  | ●研究成果 Web 発信（1年次）                                    | ●研究成果の Web 発信（2年次）                                   |

## 資料2 令和元年度「プロジェクト研究」（小学校算数科教育研究委員会）

### 1 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けたコンテンツの開発

### 2 佐賀県学習状況調査の結果から見える小学校算数科の課題

- ・乗数や除数が整数、小数、分数の計算において、乗数や除数と計算の答えの大きさの関係を理解することに課題が見られる。
- ・単位量当たりの大きさを求める除法の式を理解することや、その比べ方を理解することに一部課題が見られる。
- ・示された情報を基に、判断の理由を説明したり、筋道を立てて説明したりすることに課題が見られる。

### 3 研究の目標

小学校算数科において、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書から見える児童の課題を解決するために、効果的なコンテンツを開発する。

### 4 研究方法

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を基にした課題の把握
- (2) 課題の解決に向けたコンテンツの開発
- (3) コンテンツを活用した授業実践

### 5 研究内容

- (1) 小学校算数科教育研究委員会を組織し、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書を基に、県内の児童の学力の現状を把握する。
- (2) (1)から見えてきた課題の解決に向けた「授業改善の視点を取り入れた単元計画」や「学び合う段階の具体の一場面」を開発する。
- (3) 「授業改善の視点を取り入れた単元計画」や「学び合う段階の具体の一場面」を作成し、研究委員の所属校において授業実践を行い、コンテンツの開発に生かす。

### 6 研究推進計画

|     | 令和元年度 2か年計画 第1年次                                     | 令和2年度 2か年計画 第2年次                                     |
|-----|--|--|
| 4月  | 研究要項の作成  | コンテンツ開発  |
| 5月  | 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果分析                                  | コンテンツ開発  |
| 6月  | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①                                   | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①、コンテンツ発信                           |
| 7月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             |
| 8月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  |
| 9月  | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     |
| 10月 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 |
| 11月 | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            |
| 12月 | Web原稿提出<br>コンテンツ発信                                   | Web原稿提出  |
| 1月  | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     |
| 2月  | 次年度のコンテンツについての検討                                     |  |
| 3月  | ●研究成果 Web 発信（1年次）<br>次年度のコンテンツ開発                     | ●研究成果の Web 発信（2年次）                                   |

資料3 令和元年度「プロジェクト研究」（中学校国語科教育研究委員会）

1 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けたコンテンツの開発

2 佐賀県学習状況調査の結果から見える中学校国語科の課題

- ・全体と部分との関係に注意して話の構成を工夫したり、目的に沿った話し合いになるように適切に意見を述べたりすることに一部課題が見られる。
- ・表記の仕方を確かめて分かりやすい文にしたり、具体例を加えて、感想を分かりやすく伝えたりすることに課題が見られる。
- ・表現の特徴を捉えたり、文章の展開について自分の考えをもったりすることに課題が見られる。

3 研究の目標

中学校国語科において、佐賀県小・中学校学習状況調査のWeb報告書から見える生徒の課題を解決するために、効果的なコンテンツを開発する。

4 研究方法

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を基にした課題の把握
- (2) 課題の解決に向けたコンテンツの開発
- (3) コンテンツを活用した授業実践

5 研究内容

- (1) 中学校国語科教育研究委員会を組織し、佐賀県小・中学校学習状況調査のWeb報告書を基に、県内の生徒の学力の現状を把握する。
- (2) (1)から見えてきた課題の解決に向けた単元構想やワークシート・学習の手引き等を開発する。
- (3) 単元構想やワークシート・学習の手引き等を作成し、研究委員の所属校において授業実践を行い、コンテンツの開発に生かす。

6 研究推進計画

|     | 令和元年度 2か年計画 第1年次                                     | 令和2年度 2か年計画 第2年次                                     |
|-----|--|--|
| 4月  | 研究要項の作成  | コンテンツ開発  |
| 5月  | 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果分析                                  | コンテンツ開発  |
| 6月  | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①                                   | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①、コンテンツ発信                           |
| 7月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             |
| 8月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  |
| 9月  | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     |
| 10月 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 |
| 11月 | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            |
| 12月 | Web原稿提出<br>コンテンツ発信                                   | Web原稿提出  |
| 1月  | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     |
| 2月  | 次年度の構想についての検討  |  |
| 3月  | ●研究成果Web発信（1年次）<br>次年度のコンテンツ開発                       | ●研究成果のWeb発信（2年次）                                     |

## 資料4 令和元年度「プロジェクト研究」（中学校数学科教育研究委員会）

### 1 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けたコンテンツの開発

### 2 佐賀県学習状況調査の結果から見える中学校数学科の課題

- ・分数を含む一次式の減法や一次式を数でわる計算、単項式の除法の計算に一部課題が見られる。
- ・比例の関係を式に表したり、グラフ上の点の座標から  $x$  と  $y$  の関係を式に表したり、表から変化の割合を求めたりすることに課題が見られる。
- ・事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明したり、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりすることに課題が見られる。

### 3 研究の目標

中学校数学科において、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書から見える生徒の課題を解決するために、効果的なコンテンツを開発する。

### 4 研究方法

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を基にした課題の把握
- (2) 課題の解決に向けたコンテンツの開発
- (3) コンテンツを活用した授業実践

### 5 研究内容

- (1) 中学校数学科教育研究委員会を組織し、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書を基に、県内の生徒の学力の現状や、研究委員の学校の生徒の学力の現状について把握する。
- (2) (1)から見えてきた課題の解決に向けた「内容や時間のまとまりを見通した単元設計例とその手引き」、「学習プリント」等を開発する。
- (3) 「内容や時間のまとまりを見通した単元設計例とその手引き」、「学習プリント」等を作成し、研究委員の所属校において授業実践を行う。

### 6 研究推進計画

|     | 令和元年度 2か年計画 第1年次                                     | 令和2年度 2か年計画 第2年次                                     |
|-----|--|--|
| 4月  | 研究要項の作成  | コンテンツ開発  |
| 5月  | 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果分析                                  | コンテンツ開発  |
| 6月  | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①                                   | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①、コンテンツ発信                           |
| 7月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             |
| 8月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  |
| 9月  | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     |
| 10月 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 |
| 11月 | 研究委員会⑥（研究のまとめ）<br>Web原稿作成                            | 研究委員会⑥（研究のまとめ）<br>Web原稿作成                            |
| 12月 | Web原稿提出<br>コンテンツ発信                                   | Web原稿提出<br>コンテンツ発信                                   |
| 1月  | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     |
| 2月  | 次年度のコンテンツについての検討                                     |  |
| 3月  | ●研究成果 Web 発信（1年次）<br>次年度のコンテンツ開発                     | ●研究成果の Web 発信（2年次）                                   |

## 資料5 令和元年度「プロジェクト研究」（中学校英語科教育研究委員会）

### 1 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けたコンテンツの開発

### 2 佐賀県学習状況調査の結果から見える中学校英語科の課題

- ・まとまりのある英語を聞いて、話し手の意図や聞き手として必要な情報を理解することに課題が見られる。
- ・疑問文の構造を理解し、状況に合った文を正しく書いたり、語と語のつながりに注意して正しく書いたりすることに課題が見られる。
- ・メールの書き手の意向を理解し、内容的にまとまりのある返信を書くことに一部課題が見られる。

### 3 研究の目標

中学校英語科において、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書から見える生徒の課題を解決するために、効果的なコンテンツを開発する。

### 4 研究方法

- (1) 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を基にした課題の把握
- (2) 課題の解決に向けたコンテンツの開発
- (3) コンテンツを活用した授業実践

### 5 研究内容

- (1) 中学校英語科教育研究委員会を組織し、佐賀県小・中学校学習状況調査の Web 報告書を基に、県内の生徒の学力の現状を把握する。
- (2) (1)から見てきた課題の解決に向けた単元構成のデザイン例やパフォーマンス課題とルーブリック、4技能を統合的に活用する言語活動等を開発する。
- (3) 単元構成のデザイン例やパフォーマンス課題とルーブリック、4技能を統合的に活用する言語活動等を発信し、研究委員の所属校において授業実践を行う。

### 6 研究推進計画

|     | 令和元年度 2か年計画 第1年次                                     | 令和2年度 2か年計画 第2年次                                     |
|-----|--|--|
| 4月  | 研究要項の作成  | コンテンツ開発  |
| 5月  | 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果分析                                  | コンテンツ開発  |
| 6月  | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①                                   | 研究委員委嘱状交付式及び研究委員会①、コンテンツ発信                           |
| 7月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会②                             |
| 8月  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  | コンテンツ（2学期実践）開発<br>研究委員会③<br>コンテンツ発信                  |
| 9月  | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     | 研究委員会④<br>コンテンツ（2学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ（3学期実践）開発     |
| 10月 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 | コンテンツ（2、3学期実践）開発及び授業実践<br>コンテンツ発信<br>研究委員会⑤<br>中間報告会 |
| 11月 | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            | 研究委員会⑥(研究のまとめ)<br>Web原稿作成                            |
| 12月 | Web原稿提出<br>コンテンツ発信                                   | Web原稿提出  |
| 1月  | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     | Web原稿審議会、Web原稿修正                                     |
| 2月  | 次年度のコンテンツについての検討                                     |  |
| 3月  | ●研究成果 Web 発信（1年次）<br>次年度のコンテンツ開発                     | ●研究成果の Web 発信（2年次）                                   |